第 232 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	2023年2月17日(金)午前10時00分~11時45分経済調査会会議室
出席委員	加藤佳孝、久後翔太郎、小路直彦、小浪尊宏、野口貴文(委員長) (五十音順)

審議事項及び委員意見・質問	1	経済調査会説明・	· 審議結里
1. 前回議事概要の確認	・前回議事概要案が対		田成加入
2. 「積算資料」3月号土木系資材の価格 変動の妥当性について	・審査対象資材のうち、3月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。		
	<品目>	[地区]	(理由)
	【上伸した資材】 異形棒鋼	福井、中部、近畿、 九州	需要は都心の再開発事業などの 大型物件は底堅いものの、中小 物件が低迷し盛り上がりを欠い ている。1月上旬に発生した大阪 のメーカーの工場火災による需 給ひつ迫もあり、値上げが遅れ ていた西日本地区で、市況上伸。
	鉄スクラップ	全国	市中発生量が依然低調な中、春 節明けの中国での鋼材需要増加 への期待から輸出は回復傾向に あり、需給はややひっ迫。国内 電炉メーカーは炉前購入価格を 引き上げ、市況上伸。
	セメント	札幌、大津、京都、 奈良、和歌山	製造コスト増加を理由にメーカーが昨年2回にわたり打ち出した値上げの未達分について、売り腰を強めた結果、一部が浸透し、市況上伸。札幌は昨年10月の追加値上げが満額浸透。
	生コンクリート	宇都宮	製造コスト増加を理由に組合が 昨年6月より打ち出した値上げ の未達分について、原材料コストのさらなる上昇を受けて売り 腰を強め、市況上伸。
	生コンクリート	岐阜	原材料コスト増加等を理由に組合は昨年 10 月より値上げを打ち出す。昨年 12 月に隣接する名古屋地区で生コン価格が上昇したのを機に売り腰を強め、市況上伸。
	生コンクリート	和歌山	和歌山広域協組は、原材料、輸送コスト増加を理由に今年1月より値上げを打ち出す。高い組織率を背景に強腰で交渉を進め、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問		経済調査会説明・	審議結果
	コンクリート用砂 (荒目)(細目)	長崎	船舶維持コスト、人件費等の増加を理由に最大シェアの海砂生産組合が昨年初めより値上げを打ち出す。昨年9月に生コン市況が上伸した主需要者である生コン工場が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。
	コンクリート用砕石 クラッシャラン	仙台	製造コスト、運搬コスト増加を 理由にメーカーは昨年4月より 値上げを打ち出す。秋口以降、 生コン市況の上伸と堅調な民間 工事需要を背景に売り腰を強 め、市況上伸。
	再生クラッシャラン	福島	震災復興による解体工事の一巡 でコンクリート廃材の発生量が 減少し、再生材の需給はひつ迫。 製造、運搬コスト増加を理由と したメーカーの値上げが浸透 し、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U 形 自由勾配側溝	山形	需要減少、製造コスト増加を理由にメーカーは昨年4月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、下期以降セメント再値上げの危機感から売り腰を強め、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U 形	富山	原材料コスト増加を理由にメーカーは昨年4月より値上げを打ち出す。需要減少で一部メーカーが廃業する中、安定供給を優先する需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U 形	甲府	原材料コスト増加を理由にメーカーは昨年4月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、下期以降セメント再値上げの危機感から売り腰を強め、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U 形 自由勾配側溝	鳥取	製造コスト増加を理由に県コンクリート製品組合加盟メーカーは昨年5月より値上げを打ち出す。10月以降、非組合員も値上げに追随し、徐々に値上げが浸透して、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U 形 自由勾配側溝	福岡	原材料、運搬コスト増加を理由 にメーカーは昨年 4 月より値上 げを打ち出す。当初、交渉は難 航したが、下期以降、大型工事 が本格化したのを機に売り腰を 強め、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問		経済調査会説明・	審議結果
	鉄筋コンクリート U 形	佐賀	原材料、運搬コスト増加を理由 にメーカーが昨年1月より打ち 出した値上げの未達分につい て、足並みをそろえ売り腰を強 め、昨年9月に続き、市況上伸。
	鉄筋コンクリートU 形 自由勾配側溝	長崎	原材料コスト、人件費増加等を 理由に県コンクリート製品組合 は昨年 10 月より値上げを打ち 出す。非組合員の影響が限られ る中、新価格が徐々に浸透し、 市況上伸。
	ヒューム管外圧管 B形1種	東北	原材料コスト、人件費増加を理由にヒューム管協組は今年度入り後値上げを打ち出す。運搬コストのさらなる増加による危機感から売り腰を強め、市況上伸。
	ヒューム管外圧管 B形1種	近畿	セメントや鉄筋等の原材料コスト、運搬コスト増加を理由にヒューム管協組は昨年 10 月より値上げを打ち出す。非組合員も値上げに追随し、需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	RC ボックスカルバート	長野	原材料コスト増加を理由にメーカーは一昨年度以降、値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、今年度下期に入り原材料コストのさらなる増加を受けて売り腰を強め、市況上伸。
	RC ボックスカルバート	福岡	原材料コスト、人件費増加を理由にボックスカルバート協組は昨年4月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、年末以降、工事量が増加したのを機に売り腰を強め、市況上伸。
	RC ボックスカルバート	鹿児島	原材料、運搬コスト増加を理由 にメーカーは昨年4月より値上 げを打ち出す。当初、交渉は難 航したが、足並みをそろえて売 り腰を強めた結果、徐々に値上 げが浸透し、市況上伸。
	コンクリート積み ブロック	佐賀	原材料、運搬コスト増加を理由に1社のみとなったメーカーは昨年4月より値上げを打ち出す。当初、需要が低調なため交渉は進まなかったが、年度末の需要期を前に交渉が進展し、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問		経済調査会説明・	審議結果
	コンクリート積み ブロック	鹿児島	原材料コスト増加を理由に県コンクリートブロック協組は昨年6月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、同様にコストが増加している非組合員も値上げに追随し、市況上伸。
	野芝	全国(那覇除く)	芝の生産に必要な種子や肥料などの価格高騰に加え人件費や運搬費等のコスト増加から生産・販売業者が値上げを打ち出す。 年度末の需要期に向け徐々に値上げが浸透し、市況上伸。
	【下落した資材】		
	軽油	全国	国内需要が前年並みに推移する 中、中東産油国がアジア向け輸 出に加算する調整金を引き下 げ、元売卸価格は下落。販売業 者も値下げに動き、市況下落。
	ストレートアスファルト	全国	ストアス価格算定期間内の元売 原油調達価格は下落し、元売会 社は卸価格を引き下げた。ディ ーラーは道路舗装会社との価格 交渉において卸価格の変動額を 反映し、市況下落。
○生コンクリートについて、価格が上昇した地区の説明の中で組合の影響力の話があったが、地区ごとの価格差は組合の影響力の差によるものか。他に要因があるのか。	大きいと考えられる 大規模な非組合員] る。ほかにも隣接す	る。また、非組合員工 □場がある地区は、競 □る組合間で競合が起 ■合が広域化している	その地区の組合の結束力の影響が場の有無や規模の影響も大きく、合により市況が低迷する傾向があきて、市況が低迷するケースも見地区では、売り腰が強く高めの市
○鉄スクラップの説明で、トルコの電炉 工場の話があったが、トルコの鉄スク ラップ購入量、電炉工場の生産量は世 界的にも大きいのか。	おり、以前からアっ し、鉄鋼製品をヨー ロシアのウクライフ	✓リカやロシアなど海ーロッパに輸出していけ→侵攻後に縮小した両	、トルコは電炉が約7割を占めて外から鉄スクラップを大量に購入るため、国際指標となっている。 国のスクラップ購入量、電炉生産最近はさらに国際的な存在感が増
3. 「積算資料」3月号建築系資材の価格 変動の妥当性について	・審査対象資材のうち、3月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。		
	<品目>	[地区]	(理由)
	【上伸した資材】 電線・ケーブル	全国	2月初旬の国内電気銅建値はt当たり前月比5万円上昇し、高値圏で推移。メーカーは卸価格を引き上げ、販売業者も売り腰を強めた結果、需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問		経済調査会説明	・審議結果
	【下落した資材】		
	型枠用合板	全国	為替の円高を受け、需要者は先安 観から当用買いに徹している。今 後、手持ち在庫より割安な製品が 入荷する販売業者は、決算期を控 えて在庫整理のため販売価格を 引き下げ、市況下落。
○電線・ケーブルの説明で、脱炭素化に 伴う銅価上昇の話があったが、両者の 関係を教えてほしい。		—	、陽光発電などがあるが、大量に銅 や測から銅価が上昇傾向にある。
○型枠用合板の価格が31カ月ぶりに下落したが、産地はどのような状況か。	際的な需要は減少 いる。産地価格が	しており、マレーシア	の戸建て住宅の需要低迷などで国 などの産地では産地価格を下げて 日本国内の販売店は、高値で購入し 転じた。
4. その他			
(1) 次回開催予定	・2023年3月17日	(金)10時~12時と	決定。
			(以 上)

価格審査委員会規約

(目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の 調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者に よる価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

(委員会の事務)

- 第2条 委員会は、代表理事の委嘱に基づき、次の事務を行う。
 - 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について 審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとす る。
 - 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

(委員会の委員及び任期)

- 第3条 委員は公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、 代表理事が委嘱する。
 - 2 委員会は、委員8人以内で組織する。
 - 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補 欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 4 委員は、非常勤とする。

(委員長)

- 第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。
 - 2 委員長は、委員会を代表する。
 - 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(委員会の開催)

第5条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月1回開催する。

(審査の報告・助言)

第6条 委員会は、第2条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて代表理事に対し審 査結果の報告または助言を行う。

(意見等の聴取)

第7条 委員会は、第2条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第8条 委員は第2条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由等の資料を委員会に提出するものとする。

附則

- この規約は、平成15年11月13日から施行する。
- この規約は、平成16年4月13日から改定施行する。
- この規約は、平成18年4月13日から改定施行する。
- この規約は、平成21年4月13日から改定施行する。
- この規約は、平成24年6月15日から改定施行する。